

NIE公開授業①1学年:情報科

12月18日に、NIE公開授業がありました。今回は、1学年の情報科の授業の様子をお伝えします。これまでもNIE便りで、授業の様子をお知らせしており、新聞切り抜きコンテストに向けて準備してきたポスターが完成しました。授業では、ポスターツアーを行い、各グループの作品を見て回って、それぞれのグループからの発表を聞いたり、見学者から質問や感想を伝えたりと「主体的・対話的な深い学び」を実践していました。次回は、2学年の社会科の授業の様子をお伝えします。



気になる記事コーナー18

毎日新聞 12月12日(木)の記事

SNS 会わない／載せない／送らない

インターネットで交流するSNSを通じ、子供が犯罪に巻き込まれるのを防ごうと、県警は11日朝、啓発のチラシやティッシュを水戸駅前で配った。水城高と水戸三高の生徒たちも参加し、通学する高校生らに注意を呼びかけた。

チラシやティッシュには「会わない」「載せない」「送らない」のキーワードが目立つように書かれた。SNSで知り合った人に会わないこと、安易に氏名や住所などの個人情報を載せないこと、自身や友人の写真を送らないことを求めたメッセージだ。

県警によると、今年1～10月にSNSを使って性犯罪などに巻き込まれた18歳未満の子供は、前

県警 被害防止へ啓発

年同期に比べて5人多い34人。中学生、高校生ともに17人ずつで、中学生の増加が目立っている。

被害に遭った生徒たちが最も多く利用していたのは、短文投稿サイト「ツイッター」で12人。写真共有アプリ「インスタグラム」が4人、無料通信アプリ「LINE」は1人だった。

34人のうち25人は、有害サイトへのアクセスを制限する「フィルタリング機能」を利用していなかった。県警の福地健一郎・少年課長は「SNSは利用者の素性が見えにくく、危険が潜んでいる。フィルタリングなどの対策をしてほしい」と話した。

【川島一輝】



SNSを使って犯罪に巻き込まれないように呼びかける警察官ら—水戸駅南口で

今回の気になる記事は、SNSの問題です。SNSを使って性犯罪に巻き込まれたニュースが、新聞でもよく載っていますが、他人ごとではありません。県内でも前年同期に比べて5人多い34人(中学生、高校生とも17人)が被害にあっているそうです。記事では、そうした被害を防ごうと水戸駅前で高校生にチラシやティッシュを配って注意を呼びかけた様子が書かれています。合言葉は「会わない」「載せない」「送らない」です。皆さんもくれぐれも気を付けましょう。